

田原地域の未来を考える まちづくりワークショップ

第1回
ニュースレター

第1回ワークショップ開催概要

「田原地域ってどんなところ？」

～田原地域における遊休地の使い方を考えよう！～
をテーマにアイデアを出し合いました！

住民と行政との協働により田原地域の未来を導き出すことを目的としたワークショップの第1回は10月30日に開催しました。

公募により申込みいただいた地域住民のほか、田原中学校の生徒も参加いただき、「田原地域の課題」と「課題を踏まえた遊休地の使い方」について4班に分かれて意見を出し合いました。最後に各班でまとめた意見を発表し、参加者同士意見やアイデアを共有しました。



日時：令和5年10月30日（月）16:30～18:30

会場：グリーンホール田原 なるなるホール

参加者：26名（中学生8名）市職員：3名 コンサル：4名



グループワーク①：課題を考える



グループワーク②：使い方を考える



発表・アイデアの共有

第1回ワークショップの結果概要

参加者の皆様からは田原地域を取り巻く課題や、これらの課題を解決するためのアイデアや提案を踏まえた遊休地の使い方などを様々な視点から意見をいただきました。主な課題と使い方を以下の通りグループごとに分類しました。

田原地域の課題

まちの利便性が低い

- ・ 飲食店、本屋が少ない
- ・ 買い物できる店が少ない
- ・ スポーツ施設や文化施設が少ない
- ・ 気軽に遊びに行ける場所が少ない
- ・ 大きな病院が近くにない
- ・ 雨の日に遊べる場所が少ない
- ・ 市役所や図書館、学校までが遠い
- ・ 公園でボール遊びができない 等

賑わいや個性を感じにくい

- ・ 田原地域に誇れる物が少ない
- ・ 特別に誇れる名産がない 等

交通の利便性が悪い

- ・ バスや電車の連携が悪い
- ・ 公共施設に向かうバスが少ない
- ・ 駅までのアクセスが悪い
- ・ コミュニティバスの本数が少ない 等

人との交流が少ない

- ・ 集える場所が少ない
- ・ イベントの開催が少ない
- ・ 働ける場所が少ない
- ・ 子どもから大人、高齢者までが交流できる場所がない 等

子育て向けの施設が少ない

- ・ 子どもと遊べる場所が少ない
- ・ 公園に遊具が少ない
- ・ 幼児向け施設が少ない 等

道路・公園の景観が悪い

- ・ 街灯が少なく夜は道路が暗く怖い
- ・ 道路が狭く危ない
- ・ 公園にゴミが多い、ポイ捨てが多い
- ・ 路上駐車が多い 等

遊休地の使い方

交流の拠点・シンボル

- ・ 子どもから高齢者まで交流できるイベント、施設づくり
- ・ 勉強ができる場所
- ・ 子どもだけでも行けるイベント施設
- ・ プロギング（ゴミ拾い×スポーツを絡めたフィットネス）の実施
- ・ 古本市、マルシェや手作り市の開催
- ・ 音楽ホール
- ・ レンタルキッチン、ワークショップができる場所 等

子どもが遊べる場所

- ・ ボール遊びなど何でもできる公園・広場
- ・ 人工芝の広場
- ・ 遊具が揃った公園
- ・ 親子が集うスペース、親子で滞在できる場所 等

その他

- ・ 自動運転との連携
- ・ 電力の地産地消 等

賑わい創出の場

- ・ 買い物ができる施設
- ・ トレーラーハウス、キッチンカーの拠点
- ・ ドッグラン
- ・ BBQが可能な場所
- ・ 体育館、バスケットコート等各種スポーツ競技ができる場所（屋内）
- ・ 文化的施設
- ・ 自然や地形の高低差を活かしたアスレチック
- ・ 企業誘致、企業からの提案による遊休地の活用
- ・ 日替わり店舗としてテントや小屋の設置
- ・ 温浴施設 等

自然を身近に感じられる場所

- ・ 牧場公園
- ・ 貸農園、市民農園
- ・ 山林活用した新たな取組の実施
- ・ 季節の花を觀賞できる場所
- ・ 斜面地を活かした農園
- ・ 星空観察できる場所 等

第2回ワークショップに向けて

第1回ワークショップで得られた意見やアイデアを踏まえながら、第2回では、今後の田原地域の将来像を導き出していけるよう、引き続き皆様と議論させていただきながらワークショップを進めていきます。

【主催・問合せ】四條畷市 田原支所（担当：塩見、橋野、斎藤）TEL：0743-78-0175（代表）